

# PassLogic Enterprise Edition

Ver.2.4.0

## レプリケーション セットアップガイド AWS環境構築 準備編



#### 本書について

本書は、PassLogic 認証サーバソフトウェア レプリケーションセットアップガイド AWS 環境構築準備編です。

#### 表示画面

表示画面などは、操作の一例として掲載しているため、実際に表示される画面とは異なる場合があります。

#### 参考リンク

参考リンクは、本書作成時の情報です。リンク先の変更等によりアクセスできない場合があります。

#### 商標および免責事項

PassLogic およびパスロジは、パスロジ株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品は医療機器、原子力施設、航空関連機器、軍備機器、輸送設備やその他人命に直接関わる施設や設備など、高い安全性が要求される用途での使用は意図されていません。該当する施設や設備には使用しないでください。

#### 著作権/注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製転載することを禁じます。

本書に掲載の内容及び製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

## 目次

目次.....	2
1 このガイドについて .....	3
2 PassLogic 認証サーバ・レプリケーション構成の作成準備 .....	3
2.1 AWS EC2 インスタンスの作成 .....	3
2.2 鍵ファイルのインストール .....	3
2.3 ポートの開放(AWS EC2 セキュリティグループの設定) .....	4
3 参考リンク .....	5

## 1 このガイドについて

このガイドでは、PassLogic 認証サーバ・レプリケーション構成を、Amazon Web Service Elastic Compute Cloud (以下 AWS EC2)で構築する為の準備手順を説明します。PassLogic 認証サーバのセットアップ・運用管理全般につきましては、「PassLogic Enterprise Edition インストール・運用管理ガイド」、及び、「PassLogic Enterprise レプリケーション セットアップ&リカバリガイド」をご参照ください。また、AWS EC2 へのファイル転送、ssh 接続、ネットワーク設定等、AWS EC2 のご利用方法詳細は AWSドキュメント (<http://aws.amazon.com/jp/documentation/>)をご覧ください。AWS のサポートに直接お問い合わせください。

## 2 PassLogic 認証サーバ・レプリケーション構成の作成準備

### 2.1 AWS EC2 インスタンスの作成

AWS EC2 に PassLogic 認証サーバのインスタンスを冗長構成に必要な台数分作成します。インスタンスの作成は、AWS マネジメントコンソールの EC2 ダッシュボードから行います。インスタンス作成に進み、Amazon マシンイメージ(以下 AMI)の選択画面で、AWS Marketplace を選択します。検索フォームに PassLogic と入力して検索し、「PassLogic Enterprise Edition for AWS (BYOL)」を選択します。この AMI には RedHat Linux 7 と PassLogic Enterprise Edition がインストールされています。

### 2.2 鍵ファイルのインストール

2.1AWS EC2 インスタンスの作成で作成したインスタンスをすべて起動し、本書と同梱されています鍵ファイル `ssh_files.tar.gz` を各認証サーバ・インスタンスに転送します。次に各インスタンスにユーザ `ec2-user` で ssh 接続し、鍵ファイルを展開、ファイルの所有者、アクセス権限の設定をします。以下に `ssh_files.tar.gz` が `/tmp/` に転送された場合の手順を記載しています。

```
[ec2-user@ip-xxx-xxx-xxx-xxx ~]$ sudo -i
# cd /home/passlogic/.ssh/
# tar zxvf /tmp/ssh_files.tar.gz
# chown passlogic:passlogic *
# chmod 600 authorized_keys id_rsa*
# chmod 644 known_hosts
# rm /tmp/ssh_files.tar.gz
```

## 2.3 ポートの開放（AWS EC2 セキュリティグループの設定）

各認証サーバ・インスタンスが相互通信に利用するポート番号は下表の通りです。

使用ポート番号	プログラム名
22	ssh
5439	postgresql
9915	pgpool
9925	

AWS EC2 セキュリティグループの設定で、上記ポートを利用するインスタンス間の通信を許可してください。

### ● セキュリティグループ インバウンドルール 設定例



タイプ ①	プロトコル ①	ポート範囲 ①	送信元 ①	
SSH	TCP	22	マイ IP	①
カスタム TCP ルール	TCP	8443	マイ IP	①
SSH	TCP	22	カスタム	②
カスタム TCP ルール	TCP	5439	カスタム	②
カスタム TCP ルール	TCP	9915	カスタム	②
カスタム TCP ルール	TCP	9925	カスタム	②
HTTPS	TCP	443	カスタム	③

ルール追加      キャンセル    保存

- ① PassLogic メンテナンス用
- ② PassLogic 冗長構成/障害復旧用(対となる PassLogic 認証サーバからのアクセスを許可)
- ③ PassLogic ユーザインターフェース用(ロードバランサ or ゲートウェイサーバ or ”任意の場所”)

ここまでで、AWS EC2 に PassLogic 認証サーバ・レプリケーション構成を構築する準備手順は終了です。引き続き、レプリケーション設定を行うため、「PassLogic Enterprise Edition レプリケーション セットアップ&リカバリガイド」の「3.1 セットアップ手順」②【認証サーバ】データベースレプリケーション設定、に進んでください。

## 3 参考リンク

---

- AWSドキュメント全般  
<http://aws.amazon.com/jp/documentation/>
- AWS EC2 全般  
<http://aws.amazon.com/jp/documentation/ec2/>
- AWS EC2 インスタンスの作成  
[http://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/LaunchingAndUsingInstances.html](http://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/LaunchingAndUsingInstances.html)
- AWS EC2 Linux インスタンスへの接続  
[http://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/AccessingInstances.html](http://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/AccessingInstances.html)